監督・競技者注意事項

１．本大会は 2017 年度（公財）日本陸上競技連盟規則及び本大会申し合わせ事項による。

２．練習は、トラックの外側を使用する。ただし、跳躍競技・投てき競技の練習は、招集完了後、役員の指示に従って行うものとする。(競技運営に支障を来たさない限り、本トラックを一部開放する。ただし、役員の指示に従って行うものとする。)

３．競技場は全天候舗装である。スパイクのピンの長さは 9㎜ 以内、ただし走高跳・やり投の場合は 12㎜以内とする。

４．招集は 100ｍスタート付近で行う。
① 招集に遅れたものは、棄権とみなし出場を認めない。
② 招集は、競技開始時刻の、**トラックは 20 分前、フィールドは 40 分前**までに完了すること。
③ 招集は、本人が招集所において招集を受ける。ただし、他種目を兼ねて出場する者は、招集所競技者係にその旨を申し出て了解を得ること。(一つの種目に出場していて、他の出場種目と時刻が重なる場合は、当該役員に申し出て了解を得る。）これを怠った者は棄権とみなす。
④ 招集所では、〇を付けた後、ナンバーカードと競技用靴の点検を受けて役員の指示に従う。

５．ナンバーカードは 2 枚を胸背部に付けること。ただし、走高跳、棒高跳はいずれか 1 枚でよい。

６．トラック競技の組・走路順、フィールド競技の試技順について
① トラック競技の組・走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選し、プログラムで示す。
② トラック競技二次予選の組・走路順は、本部で抽選し掲示する。

７．リレー競技について
① リレー競技に出場するチームは、リレーオーダー用紙を作成し、**招集完了時刻の１時間前**までに招集所に提出すること。その後、**出場者４名が招集完了時刻までに招集所にて招集を受けること。**
② リレー競技に出場するチームのユニフォームは、4 名統一した物を着用すること。

８．競技方法
＜トラック競技＞
① トラック競技は全て電気計時で行う。
② 次のラウンド決定において同タイムの競技者が出た場合、写真判定を細部（電気計時 1／1000）まで読み取り優劣を判定する。それでも判定できない場合は、同タイム者または代理人によって抽選する。
③ スタートの合図は、イングリッシュコマンドで行い、**１回目の不正スタートで、失格とする。**
④ 男子 5000ｍ・女子 3000ｍ・男女 5000ｍWは、招集の際に特別ナンバーカードを受け取り、競技終了直後フィニッシュ地点で返却する。
⑤ 男子 5000ｍは 23 分、女子 3000ｍは 18 分、男女競歩競技は 40 分で残り 1 周を通過できない場合競技を終了する。
＜フィールド競技＞
① バーの上げ方は以下のとおりとする。

男子走高跳	最初の高さは係員の指示による。その後、1m80 までは 5 ㎝ずつ上げる。
女子走高跳	最初の高さは係員の指示による。その後、1m50 までは 5 ㎝ずつ上げる。
男女棒高跳	係員の指示による

② 11 位決定のためのバーの上げ、棒高跳では５㎝とする。

９．棒高跳用ポール・投てき用具は、検査を受け承認された物に限り使用できる。但し、承認された投てき用具は、競技場の用具と同じ扱いとする。（棒高跳用ポールは該当役員の検査とし、投てき用具は検査時間内に器具庫前で公式計測員の検査を受ける。）なお、検査を受ける用具は日本陸連の検定品であること。

★投てき用具の検査時間　両日とも 8:45～9:15

１０．県大会進出について

① 本予選会で走高跳を除く各種目の 11 位までが、5 月 13・14 日に川崎市等々力陸上競技場、5 月 20・21 日に三ツ沢公園陸上競技場で開催される神奈川県高等学校総合体育大会に出場できる。走高跳については、本予選会で以下の標準記録を突破した者が県大会へ出場することができる。

男子：１m80　女子：1m50

② 平成 28 年度県高校新人大会 8 位入賞者（リレーを除く）で、シード権を行使するものは、入賞種目に限り直接県大会に出場できる。ただし、その種目で予選会に出場した者は、上位 11 位に入らない場合、県大会へ出場できない。

③ トラック種目の 11 位の決定において、同タイムで写真判定を細部（電気計時 1／1000）まで読み取り、優劣が判定できず着差が無い場合、出場枠にプラスして県大会へ出場できる。

④ 走高跳・棒高跳を除くフィールド競技において 11 位が複数出た場合、出場枠にプラスして県大会へ出場できる。

⑤ 各地区での県大会出場枠に参加者が満たない種目（走高跳を除く）の出場権については、招集完了時に県大会出場枠以下（エントリーが出場枠以上でも）であったとき、県大会の出場権獲得とする。ただし、招集完了時に出場枠以上で競技が開始された場合、失格等があって出場枠に満たなくなった時の補充はしない。

⑥ リレー競技で県大会出場を決めたチームは、メンバー変更の有無にかかわらず再度本部にて申し込みを行うこと。

男女 4×100ｍＲ：4 月 30 日（日）8：30 まで
男女 4×400ｍＲ：競技結果の正式通告後

⑦ シード選手のオープン参加は認めない。

１１．その他

① 競技中の疾病・傷害などの応急処置は主催者側で行う。

② プログラムに誤記がある場合は、8：30までに本部まで申し出ること。

③ 参加各校の生徒役員（各校 2 名以上）は、8：30 に本部前に集合すること。

④ 待機場所としてのテント設置可能区域は、スタンド後方およびスタンドのみとする。ただし、写真判定室周辺および本部ダッグアウトから 3 ブロックはテントの設置を禁止する。
※不入斗公園内のプール・体育館・野球場周辺を待機場所には絶対にしないこと。

⑤ 正面スタンド前の手すりをまたぎ越してはならない。

⑥ 応援はスタンドで行うこと。トラック・フィールドへの役員・競技者以外の立ち入りを禁ずる。

⑦ 大会中は競技マナーを守り、ゴミ処理・貴重品の管理にも留意すること。

⑧ 各校の横断幕、のぼり等は正面スタンドには張らないこと。

⑨ 競技場の開門は 7：00（予定）とする。それ以前には入場しないこと。

⑩ 競技場の使用は 17:00 までとするが、それ以前であっても競技会終了後は、直ちに退場すること。

⑪ 準備、片付けは横三地区で行う。

⑫ 競技終了後は自席の清掃をし、ゴミは各自で必ず持ちかえること。

◆競技会における事故防止について

① 競技場では、決められたレーンを守り常に安全確認を怠らない。競技開始前の練習については、アナウンスでレーン規制を連絡するので指示に従うこと。
② 競技会に参加の競技役員、競技者、生徒役員以外は、トラック、フィールドに立ち入らない。
③ 競技開始前、練習時間においては競技役員・顧問が協力し巡回指導を行うので指示に従うこと。
④ トラック・フィールドともに横断する際には周囲の安全確認を行うこと。
⑤ 周囲の安全を確認し、審判員・顧問の指示に従い事故防止を何よりも優先すること。

◆撮影に関するお願い（一般来場者・学校関係者のみなさま）

◆選手の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください
① 撮影は全て、スタンドから行ってください。
② 撮影ができるのは「撮影許可証」を申請し、許可証を身に着けている方のみとします。「許可証」を身に着けていても保護者及び本人の承諾の無い撮影は禁止します。
③ 盗撮・透過撮影行為防止のため、競技者に迷惑のかかる恐れのある撮影・行動を禁止します。
例・トラック種目のスタート時の前方・後方からの撮影は禁止。
・走高跳、走幅跳、三段跳、棒高跳等の助走後方や着地正面からの撮影は禁止。
・走高跳、棒高跳等のマットに向かった正面（クリアランス動作中）からの撮影は禁止。
・投擲種目における選手の正面からの撮影は禁止。
・競技者がスターティングブロックを合わせている際や試技を待っている間など準備を行っている際の撮影は禁止。
・その他、競技者の迷惑と思われる撮影は禁止。
④ 他者に著しく迷惑をかける行為として主催者側で判断した場合は、すみやかに警察及び関係機関に連絡します。
⑤ 撮影の仕方が不自然な場合や、盗撮が疑われる場合には、競技役員が撮影内容の確認をさせていたく場合があります。
⑥ 競技運営上、競技役員の判断により、撮影禁止エリアを設ける場合があります。
⑦ その他、上記の内容も含めて、競技運営上の都合により（大会当日を含む）変更する場合があります。その際には競技役員の指示に従ってください。

盗撮行為や迷惑行為を発見された場合は、お近くの競技役員までお知らせください。発見次第、記録媒体を没収の上、所轄警察署に通報します。

◆競技場への入場について

① 場所取りのために優先して入場できるのは、<u>各校３名</u>までとする。優先入場を希望する学校の３名は、入場門前に整列すること。入場順は先着順とする。<u>ただし、整列できるのはその時間に顧問が引率している学校に限る。</u>
② 3 名以外は後方に先着順に整列する。その際、自校のメンバーが居る位置に割り込むことがないようにし、後から来た者は列の最後尾に並ぶこと。